



水あそびやプール遊びが心地よく感じられる季節になりました。

8月は、遠くにお出かけするご家庭も多いと思いますが、体調やけがに気をつけながら、楽しい夏の思い出をつくりましょう。

夏風邪も流行しています。手洗い、うがい、手指の消毒など、十分に注意しながら元気に夏を過ごしましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



プール熱 (アデノウイルス)

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状もです。

流行性角結膜炎(アデノウイルス)

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙がでます。周りの人への感染源となるのでタオルは共有しないようにしましょう。



手足口病

手の平、足の裏、口の中などに水ぼうがで、発熱することもあります。



夏風邪の流行が過去10年で最多となったそうです。

コロナ禍での感染症予防対策で、本来増えるはずの感染症が流行せず、様々な感染症に対して免疫のない子どもたちが増えたこと、そして最近、感染対策も緩和されたことによって、一気に広まったのではないかということが言われています。

予防対策として「手洗いの徹底」「タオルを別々に」「冷房を入れていても換気」の3点を心掛けましょう。

虫さされのあとに注意！

うっかり爪でかいてしまうと、とびひになってしまうことも。つめも伸び過ぎやささくれ、ひび割れをこまめにチェックしましょう。



RSウイルスについて

症状

- ・高熱(38℃以上の発熱)
- ・鼻水
- ・咳などの呼吸器症状
- 重症化するとゼーゼー・ヒューヒューといった喘鳴、陥没呼吸、呼吸困難

今後の予定

内科健診(全クラス)

・9/4(月) 12:30~

・9/11(月) 12:30~(予備日)

当日お休みを予定しているご家庭も可能でしたら内科健診の時間のみ登園をお願いします。



感染症発生状況 (6月~7月)

- ・ウイルス性胃腸炎
- ・ヘルパンギーナ
- ・溶連菌感染症
- ・RSウイルス感染症
- ・ヒトメタニューモウイルス
- ・コロナウイルス感染症
- ・突発性発疹
- ・手足口病
- ・インフルエンザ



■その他、咳が出ていたり、発熱の園児がいます。

■治癒後の登園時に、「登園届」や「意見書」が必要な感染症があります。「保育園のしおり」をご確認ください。(「ヒトメタニューモウイルス」は、記載がありませんが、「登園届」が必要になります。登園の目安などは「RSウイルス」の欄を参照してください)



病児・病後児保育について

38℃以上の発熱や、嘔吐下痢があった場合は、24時間たってから登園が可能になります。解熱剤や下痢止め等を使用し無理をしてお子さまを保育園に預けると、お子さまが辛いだけでなく、他のお子さまにうつしてしまったり、保育士にも感染が広がると保育の運営にも支障が出てしまう可能性があります。

お仕事を休むことが難しかったり、どなたにも預けることが出来ない場合は、病児保育や病後児保育のご利用もご検討ください。



病児保育事業の広域連携について

令和5年4月1日から厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村で病児保育施設の相互利用ができるようになりました。詳しくは海老名市のホームページをご確認をお願いします。

